

「洛西ニュータウン創生推進委員会」 部会委員公募のお知らせ

洛西ニュータウンは、まちびらきから30年が経過し、少子・長寿化と人口減少が同時に進行するとともに、コミュニティの希薄化、サブセンターの機能の低下などの課題が生じています。

「洛西ニュータウン創生推進委員会」は、これらの課題に応じて、「環境」、「安心安全・子ども育成」、「コミュニティ」、「生活機能向上」の4つの部会を設置し、現在29名の部会委員が洛西ニュータウンを、いつまでも住みよいまちにするための取組を積極的に展開しています。

洛西ニュータウンは近い将来、居住環境に関して、住民の合意形成に多大の時間と労力とを要する課題に直面することが予想されます。それに備えて、平成19年6月の委員会発足からの3年間で育ち始めたまちづくり体制を、さらにニュータウン全体にまちづくり活動の連携の輪を広げることにより発展させることが必要と考えています。

平成22年度の部会の活動を進めるにあたり、広く洛西ニュータウンの住民の皆さんにご参加いただくため、部会委員の公募を行います。まちづくりの主役は、住民の皆さんです。ご応募をお待ちしています。

- 公募人数 「部会」ごとに各4～6名程度（計18名程度）
- 応募期間 平成22年3月1日（月）～3月23日（火）
【午後5時まで必着。郵送の場合、当日消印有効】
- 応募資格 ① 原則として洛西ニュータウン（新林、境谷、福西、竹の里の各学区・地域）にお住まいの方
② 委員会・部会活動の趣旨に賛同し、一緒にまちづくりに取り組もうという方
- 応募方法 応募用紙に必要事項を記載し、応募理由等を200字程度でご記入のうえ、郵送、FAX又は持参でご応募ください。
- 応募用紙の配布場所
応募用紙は、洛西支所まちづくり推進課及び下記の各会館に置いています。また、委員会ホームページ及び西京区役所ホームページからもダウンロードできますので、ご利用ください。
なお、応募用紙の返却はいたしません。

（委員会ホームページアドレス：<http://www.rakusaint.com>）

（西京区ホームページアドレス：<http://www.city.kyoto.jp/nisikyoto>）

洛西新林会館	大枝西新林町5丁目1番地26（新林センター内）	Tel 331-6855
洛西境谷会館	大原野西境谷町2丁目14番地16（境谷センター内）	Tel 331-3878
洛西竹の里会館	大原野西竹の里町1丁目19番地4（竹の里センター内）	Tel 332-8030
洛西福西会館	大枝北福西町3丁目2番地25（福西センター内）	Tel 331-0865

- 選考方法 応募いただいた書類をもとに選考します。（必要に応じて、面接を行う場合があります。）選考結果は、決定次第応募者全員にお知らせします。

- お問い合わせ、応募先

「洛西ニュータウン創生推進委員会」事務局

〒610-1198（住所不要）洛西支所まちづくり推進課内

Tel. 075-332-9318 / Fax. 075-332-8187

平成22年度部会活動（予定）

部会	活動方針	活動内容	募集人数
環境部会	～自然環境の保全と美しいまちなみづくり～ 「豊かな緑、美しい街路と河川、ゆとりあるまちなみ」は洛西ニュータウンの宝です。これらを守り、育て、次世代に残すための様々なまちづくり活動を推進するとともに、必要なルールの見直しを行う活動を行います。 少子化と高齢化に伴う変化を念頭に、勉強会や環境学習活動などを通して、住民の皆さんとともに活動する場にしていきたいと考えています。	1. 公園・緑地・街路・河川の維持・美化活動の推進・協力 2. 樹木の景観維持活動 3. 美しくゆとりあるまちなみ景観を維持するルールづくり 4. わかりやすく親しみのある通りの愛称づくり 5. 住宅の住み替え、建替え・改修問題の検討 6. 環境学習活動の推進 7. 「まちづくり勉強会」への積極的参加	4名程度
安心安全・子ども育成部会	～住民同士、互いが創る各世代が共生するまち～ テーマ：「子どものふるさと創り」 様々な体験を通じて、洛西ニュータウンを故郷と感じてもらおう活動をサポートします。	昨年度発足した「子どもまちづくりサポーター」による「子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのためのまちづくり活動」実施に向けてのサポートを行います。また「小畑川コミュニティ事業」を通じて、体を使う「プレイパーク」、「自然観察会」、手を使う「ネイチャークラブ」、「竹細工教室」など、様々な子ども向けの活動を実施、サポートを行います。	4名程度
コミュニティ部会	～地域コミュニティの活性化を目指して～ 地域のコミュニティを支えるため、熟年世代の住民活動への参加を促進します。そのため部会のオープン化を図り、多くの方々が参加し課題を提案できる場にしていきたいと考えています。	1. 住民や活動団体（ボランティアグループなど）の交流の場を設置 2. 活動団体の調査を踏まえた団体紹介資料の作成と住民への情報発信 3. 熟年世代の参加による楽しいコミュニティの場づくりの支援 4. 「地域活動団体交流事業」をはじめとする委員会事業への積極的参加	4名程度
生活機能向上部会	～豊かな生活環境の利便性を促進する～ テーマ①：「サブセンターの活性化」 サブセンターは約30年もの年月を経過し、時代の変遷に適應する必要性・活用方法等の見直しを迫られています。難しい課題ですが、住民の豊かな生活を支援するため、サブセンターの活性化に取り組みます。 テーマ②：「タウンセンターの今後」 タウンセンターの機能の維持・充実と、良質なにぎわいの創造のための議論を開始します。京都エミナーズの今後の利用方法にも関連して、住民にとって最良の利用ができるよう検討します。	サブセンターの ① 現状の問題点を探り、 ② 今後の課題として、例えば a コミュニティの場 b 生涯学習や市民活動の場 c ボランティア活動の場 等々、住民の豊かな生活を支援する施設（場）としての役割を検討します。 タウンセンターについては、サブセンターの議論と連動して検討します。	6名程度

- 部会委員の役割等

- (1) 委員会との連携を図りながら、所属する部会の活動全般にわたり、部会の皆さんで協議し、協力しながら、取組を進めていただきます。
- (2) 「小畑川コミュニティ事業」や「地域活動団体交流事業」、「まちづくり勉強会」など委員会全体として取り組む事業の企画、運営に自主的に参画していただきます。
- (3) 住民や地域のまちづくり活動団体との情報共有に努め、連携の強化を図るとともに、部会間での交流を広げ、横断的な取組を可能にさせていただきます。
- (4) 事例見学会や学習会・報告会に参画していただきます。
- (5) 委員会の要請がある場合には、委員会に出席していただきます。
- (6) 報酬はありません。

- 任期

委嘱の日から平成23年3月31日まで